

CHANGE FOR THE BLUE in ふくおか (CFB・海と日本2021)

- 海と日本プロジェクト in ふくおか実行委員会 -

RKB毎日放送

2021年度 成果

2021年度は「海と日本プロジェクト」の活動をあらためて身近に、そして福岡エリアに浸透させることを目標に各施策を実行してまいりました。

また、エリアへの波及面では、活動をより身近に感じてもらうべく、福岡県民が幼い頃から馴染みのある(株)ふくれんと共同でスムージーを開発。更にその商品を身近に利用するコンビニ・セブンイレブン県内全店（結果、九州・中国地方に波及）で販売することにより、CFBへの理解と注目度向上を実現いたしました。



(株)ふくれんとの商品開発
福岡県民は給食に配られるみかんジュースで馴染みのある(株)ふくれんと、九州産の野菜・果物の端材を使用したスムージーを開発。九州・中国エリア約3300店舗のセブンイレブンで販売



拾い箱×セブンイレブン
商品開発を行ったスムージーのパッケージのイラストを使いセブンイレブンと共同で拾い箱を制作。県内のセブンイレブン2店舗に設置。



スポGOMI甲子園
今年度は27組81名に参加いただき、大会を実施。新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みの中では地元企業「しゃぼん玉せっけん」様からも協力いただき、ムーブメント拡大中。



LINE×北九州市連携モデル
LINEを利用して海ごみ拾いを促進。海ごみゼロウィークと北九州市まち美化化週間をタイアップさせ、LINE Fukuoka社と北九州市に協力いただき、北九州市公式アカウントを使用し、登録者に対して清掃案内、簡単に申込みできるようなシステム構築

メディア露出



9/23「まちプリ」



9/25「トコワカ」



10/6「タダイマ」



10/18「まちプリ」

その他：TV11本 CM200本 WEB8本 新聞1紙 フリーペーパー2紙 掲載

2021年度の課題とこれからの展望

2021年度の活動を経て、効果的な取り組みも実施できた一方で、連携先との取り組みを年間で1回実施して満足してしまうような、短期的な事業となりがちだと実感。年間を通して継続的に取り組んでいけるように、両者にとってメリットのある、継続的発展が行える事業モデルを作り、年間で海プロとの繋がりを持つ方々を県内の5%達成（50万人）を初期段階の目標とし、各事業の創造を予定する。